

第四計画期間 評価項目一覧(区分I)

参考資料4-1

※ 評価分類の欄の◎印は必須項目、○印は一般項目、+印は加点項目を示す。赤字は新規、灰色は廃止項目を示す。

評価項目の区分	評価分類	No.	評価項目	
I 一般管理事項	1. CO2削減推進体制の整備	◎	1.1 CO2削減推進会議等の設置及び開催	
		◎	1.2 PDCA管理サイクルの実施体制の整備	
		+	1.3 環境認証の取得	
	2. 図面、管理標準等の整備	◎	2.1 図面・改修履歴等の整備	
		◎	2.2 設備台帳等の整備	
		◎	2.3 管理標準等の整備	
	3. 主要設備等に関する計測・計量及び記録	◎	3.1 ビルエネルギーマネジメントシステム(BEMS)等の導入	
		◎	3.2 電力負荷状況・発電状況等の把握に必要な計測・計量設備の導入	
		◎	3.3 エネルギー消費先別の使用量把握に必要な計測・計量設備の導入	
		◎	3.4 系統別の使用量把握に必要な計測・計量設備の導入	
		○	3.5 エネルギー供給設備の分析に必要な計測・計量設備の導入	
		○	3.6 代表階又は代表エリアの使用量把握に必要な計測・計量設備の導入	
		+	3.7 空調の使用量に応じた課金体系の導入	
	4. エネルギー消費量・CO2排出量の管理	◎	4.1 エネルギー消費特性の把握、エネルギー消費原単位の算出及び管理	
		◎	4.2 CO2排出量の管理	
		◎	4.3 CO2削減目標の設定、CO2削減対策計画の立案及び実績の集約・評価の実施	
		◎	4.4 CO2削減対策の啓発活動の実施	
		○	4.5 エネルギー供給設備の運転解析の実施	
		◎	4.6 改善策の立案・実施及び効果検証の実施	
		○	4.7 コミッショニング(性能検証)の実施	
		○	4.8 利用者等への環境・エネルギー情報提供システムの導入	
5. 保守・点検の管理	◎	5.1 保守・点検計画の策定及び実施		
II 建物及び設備性能に関する事項	1. 自然エネルギーの利用	○	1.1 自然採光を利用したシステムの導入	
		○	1.2 自然通風を利用したシステムの導入	
		+	1.4 未利用エネルギーシステムの導入	
		+	1.5 年間を通して安定した地中温度を利用したシステムの導入	
	2. 建物外皮の省エネルギー性能	○	2.1 高性能な建物外皮の導入	
		○	2.2 風除室、回転扉等による隙間風対策の導入	
		○	2.3 屋上緑化の導入	
		+	2.4 ブラインドの日射制御及びスケジュール制御の導入	
		+	2.5 壁面緑化の導入	
	3. 設備・制御系の省エネルギー性能	a. 熱源・熱搬送設備	◎	3a.1 高効率熱源機器の導入
			◎	3a.2 高効率冷却塔の導入
			◎	3a.3 高効率空調用ポンプの導入
			◎	3a.5 大温度差送水システムの導入
			◎	3a.6 水搬送経路の密閉化
			◎	3a.7 蒸気弁・フランジ部の断熱
			◎	3a.8 熱源の台数制御の導入
			◎	3a.9 冷却塔ファン等の台数制御又は発停制御の導入
			◎	3a.10 空調2次ポンプ変流量制御の導入
			○	3a.11 空調2次ポンプの適正容量分割又は小容量ポンプの導入
			○	3a.12 熱源機器出口設定温度の遠方制御の導入
			○	3a.13 空調1次ポンプ変流量制御の導入
			○	3a.14 冷却水ポンプ変流量制御の導入
			○	3a.15 空調2次ポンプの末端差圧制御の導入
			○	3a.16 熱交換器の断熱
			+	3a.17 蓄熱システムの導入
			+	3a.18 高効率コージェネレーションの導入
			+	3a.19 冷却塔ファンインバータ制御の導入
			+	3a.20 フリークーリングシステムの導入
			+	3a.22 配管摩擦低減剤(DR剤)の導入
			+	3a.23 中温冷水利用システムの導入
+			3a.24 統合熱源制御システムの導入	
+			3a.25 空調2次ポンプの送水圧力設定制御の導入	
+			3a.26 エネルギーの面的利用の導入	

評価項目の区分		評価分類	No.	評価項目
II 建物及び設備性能に関する事項	3 ・設備・制御系の省エネルギー性能	b. 空調・換気設備	◎	3b.1 高効率空調機の導入
			◎	3b.2 高効率パッケージ形空調機の導入
			◎	3b.3 高効率ファンの導入
			◎	3b.4 ウォーミングアップ時の外気遮断制御の導入
			○	3b.5 エレベーター機械室の温度制御の導入
			○	3b.6 電気室の温度制御の導入
			○	3b.7 電算室の冷気と暖気が混合しない設備の導入
			○	3b.8 空調機の変風量システムの導入
			○	3b.9 大空間の居住域空調又は局所空調システムの導入
			○	3b.10 空調機の気化式加湿器の導入
			○	3b.11 空調温度制御の不感帯の設定
			○	3b.12 外気冷房システムの導入
			○	3b.13 CO2濃度による外気量制御の導入
			○	3b.14 ファンコイルユニットの比例制御の導入
			○	3b.15 空調のセキュリティー連動制御の導入
			○	3b.16 空調の最適起動制御の導入
			○	3b.17 非使用室の空調発停制御の導入
			○	3b.18 駐車場ファンのCO又はCO2濃度制御の導入
			○	3b.19 熱源機械室ファンの燃焼機器等連動停止制御の導入
			+	3b.20 全熱交換器の導入
			+	3b.21 大温度差送風空調システムの導入
			+	3b.22 床吹出空調システムの導入
			+	3b.23 放射冷暖房空調システムの導入
			+	3b.24 冷却除湿再熱方式以外の除湿システムの導入
			+	3b.25 潜熱・顕熱分離方式省エネ空調システムの導入
			+	3b.26 デシカント空調システムの導入
			+	3b.27 ハイブリッド空調システムの導入
			+	3b.28 置換換気システムの導入
			+	3b.29 電算室の局所冷房設備の導入
			+	3b.30 高効率厨房換気システムの導入
			+	3b.31 空調機の間欠運転制御の導入
			+	3b.32 厨房外調機・ファンの風量モード切替制御の導入
			+	3b.33 厨房外調機の換気モード切替制御の導入
			+	3b.34 人感センサーによる換気制御の導入
			+	3b.35 ファンの手動調整用インバータの導入
			+	3b.36 気流感創出ファン・サーキュレーションファンの導入
			+	3b.37 厨房排気の熱回収システムの導入
	c. 照明・電気設備	◎	3c.1 高効率照明器具の導入	
		◎	3c.2 高輝度型誘導灯・蓄光型誘導灯の導入	
		◎	3c.3 照明の初期照度補正制御の導入	
		◎	3c.4 照明のゾーニング制御の導入	
		◎	3c.5 高効率変圧器の導入	
		◎	3c.6 力率改善制御システムの導入	
○		3c.7 高効率UPSの導入		
○		3c.8 照明の昼光利用照明制御の導入		
○		3c.9 照明の人感センサーによる在室検知制御の導入		
○		3c.10 照明のタイムスケジュール制御の導入		
○		3c.11 照明のセキュリティー連動制御の導入		
○		3c.12 デマンド制御システムの導入		
+		3c.13 タスク&アンビエント照明システムの導入		
+		3c.14 高効率給電設備の導入		
+		3c.15 照明の明るさ感知による自動点滅制御の導入		
+		3c.16 照明の局所制御の導入		
+		3c.17 誘導灯の消灯制御の導入		
+		3c.18 事務室のセンサーによる照明制御単位の細分化		
d. 給排水・給湯設備	◎	3d.1 高効率給水ポンプの導入		
	○	3d.2 大便器の節水器具の導入		
	○	3d.3 省エネ型便座又は洗浄便座のスケジュール制御の導入		
	○	3d.4 洗面器の自動水栓の導入		
	○	3d.5 便所への擬音装置の導入		
	○	3d.6 便所洗面・湯沸室への局所給湯システムの導入		
	+	3d.7 排水再利用システム等の導入		
	+	3d.8 高効率給湯ヒートポンプユニットの導入		
	+	3d.9 自然冷媒ヒートポンプ給湯器の導入		
	+	3d.10 潜熱回収給湯器の導入		
	+	3d.11 水道本管圧力利用システムの導入		

評価項目の区分		評価分類	No.	評価項目
II 建物及び設備性能に関する事項	3 ・設備・制御系の省エネルギー性能	e. 昇降機設備	◎	3e.1 エレベーターの可変電圧可変周波数制御方式の導入
			◎	3e.2 エレベーターの群管理制御の導入
			○	3e.3 エレベーターかご内の照明、ファン等の不使用時停止制御の導入
			+	3e.4 エレベーターの電力回生制御の導入
			+	3e.5 エスカレーターの自動運転方式又は微速運転方式の導入
	f. その他	○	3f.1 グリーン購入法適合商品のオフィス機器の導入	
		○	3f.2 省エネ型自動販売機又は自動販売機のスケジュール制御の導入	
		+	3f.3 高効率冷凍・冷蔵設備の導入	
		+	3f.4 高効率エアコンプレッサーの導入	
		+	3f.5 高効率ブロワ・その他設備に係る高効率ポンプの導入	
		+	3f.6 高効率クリーンルームの導入	
		+	3f.7 高効率厨房機器の導入	
		+	3f.8 ブロワ・その他設備に係るポンプのインバータ制御の導入	
		+	3f.9 ドラフトチャンバーの換気量可変制御システムの導入	
III 事業所及び設備の運用に関する事項	1 ・運用管理	a. 熱源・熱搬送設備	◎	1a.1 燃焼機器の空気比の管理
			◎	1a.2 蒸気ボイラーの設定圧力の適正化
			◎	1a.3 冷凍機の冷却水温度設定値の調整
			+	1a.4 熱のエネルギー効率の実績
			○	1a.5 部分負荷時の熱源運転の適正化
			○	1a.6 部分負荷時の空調用ポンプ運転の適正化
			○	1a.7 蒸気ボイラーの給水水質・ブロー量の管理
			○	1a.8 熱源機器の冷温水出口温度設定値の調整
			○	1a.9 蓄熱槽の管理
			○	1a.10 コージェネレーションの運転の適正化
			○	1a.12 ミキシングロス防止のためのバルブ開度の確認
			○	1a.13 インバータ制御系統のバルブの開度調整
			○	1a.14 熱源不要期間の熱源機器等停止
			○	1a.15 空調開始時の熱源起動時間の適正化
			○	1a.16 空調停止時の熱源運転時間の短縮
			○	1a.17 空調2次ポンプ変流量制御のインバータ周波数下限値の調整
			○	1a.18 再生可能エネルギー等熱利用システムのバックアップ運転の適正化
			b. 空調・換気設備	◎
	◎	1b.2 CO2濃度・外気温湿度による外気取入量の調整		
	◎	1b.3 居室の室内温度の適正化		
	◎	1b.4 ファンの間欠運転の実施		
	○	1b.5 電算室の空調機運転の適正化		
	○	1b.6 空調運転時間の短縮		
	○	1b.7 冬季におけるベリメータ設定温度の適正化		
	○	1b.8 クールビズ・ウォームビズによる空調設定温度の緩和		
	○	1b.9 居室以外の室内温度の緩和		
	○	1b.10 冷却除湿再熱の停止		
	○	1b.11 建物全体の給排気バランスの管理		
	○	1b.12 エレベーター機械室・電気室の室内設定温度の適正化		
	○	1b.13 エレベーター機械室・電気室のファンの夏季停止		
	○	1b.14 エレベーター機械室・電気室の空調機の給気・還気設定温度の適正化		
	+	1b.15 冬季冷房になる室の設定温度の適正化		
	+	1b.16 ファンのプリーダウンの実施		
	+	1b.17 地下駐車場のスロープ等からの自然給気		
	+	1b.18 パッケージ形空調機の省エネチューニングの実施		
	+	1b.19 変風量システムの最小風量設定値の調整		
	+	1b.20 変風量システムのインバータ周波数下限値の調整		
	+	1b.21 厨房外調機の換気モード切替制御の換気モード運転の適正化		
	c. 照明・電気設備	◎		1c.1 居室以外の照度条件の緩和
		○		1c.2 清掃等の日常メンテナンス作業時の照明点灯時間・照度条件の適正化
		○		1c.3 不要期間・不要時間帯の変圧器の遮断
		○	1c.4 事務室の室内照度の適正化	
+		1c.5 事務室の照度条件の緩和		
+		1c.6 時間外等の照明点灯エリアの集約化		
+		1c.7 人感センサーのタイマー設定時間の適正化		
d. 給排水・給湯設備	◎	1d.1 給水圧力の管理		
	◎	1d.2 貯湯温度設定の緩和		
	○	1d.3 揚水ポンプのバルブの開度調整		
	○	1d.4 洗浄便座暖房の夏季停止		
	○	1d.5 給水・給湯バルブの調整		
	○	1d.6 給湯温度設定の緩和		
	○	1d.7 貯湯式電気温水器の夜間・休日の電源停止		
	○	1d.8 便所洗面給湯の給湯中止又は給湯期間の短縮		
	○	1d.9 給湯不要時間帯の給湯循環ポンプの停止		

評価項目の区分		評価分類	No.	評価項目
Ⅲ 事業所及び設備の運用に関する事項	1 運用管理	e. 昇降機設備	○	1e.1 夜間・休日等のエレベーターの運転台数の削減
			○	1e.2 エレベーターかご内の空調設定温度の緩和
		f. その他	○	1f.1 外部に面する出入口の開閉の管理
			○	1f.2 非稼働エリアのエア供給弁の閉止
			○	1f.3 非使用時間帯のエアコンプレッサーの停止
			○	1f.4 エアコンプレッサーの設定圧力の適正化
			○	1f.5 エアコンプレッサー吸入空気温度の管理
			○	1f.6 冷凍・冷蔵設備冷却器の除霜(デフロスト)の実施
	○		1f.7 情報通信施設のPUEの実績	
	2 保守管理	a. 熱源・熱搬送設備	◎	2a.1 熱源機器の点検・清掃
			◎	2a.2 冷却水の適正な水質管理及び冷却塔の充填材の清掃
			○	2a.3 熱源用制御機器の点検及び制御バルブ等の作動チェック
			○	2a.4 熱交換器の清掃
			○	2a.5 蒸気配管・バルブ・スチームトラップからの漏れ点検
			+	2a.6 熱源機器のメーカーによる遠隔監視
		b. 空調・換気設備	◎	2b.1 空調機・ファンコイルユニット等のフィルターの清浄
			○	2b.2 センサー類の精度チェック及び制御ダンパ等の作動チェック
			○	2b.3 空調機・ファンコイルユニット等のコイルフィンの清浄
			○	2b.4 パッケージ屋外機のフィンコイル洗浄
			○	2b.5 省エネファンベルトへの交換
			+	2b.6 パッケージ形空調機のメーカーによる遠隔監視
		c. 照明・電気設備	○	2c.1 照明用制御設備の作動チェック
			○	2c.2 照明器具の清掃及び定期的なランプ交換
	○		2c.3 ランプ交換時の初期照度補正リセットの実施	
	f. その他	○	2f.1 冷凍・冷蔵庫の保温管理	
		○	2f.2 エア配管・バルブからの漏れ点検及びエアコンプレッサー吸込みフィルターの清掃	
	ギⅣ の事業所 の再生 可能 エネルギー	1. オンサイトの再生可能エネルギーの利用	◎	1.1 太陽光発電システムの導入
			+	1.2 大規模太陽光発電システムの導入
+			1.3 再生可能エネルギーシステムの導入	
2. オフサイトの再生可能エネルギーの利用		○	2.1 オフサイトの再生可能エネルギー発電設備の導入	
		+	2.2 良質なオフサイトの再生可能エネルギー発電設備の導入	
3. 電気需給契約等による再生可能エネルギーの利用		○	3.1 再生可能エネルギー電気の購入	
		+	3.2 良質な再生可能エネルギー電気の購入	
4. 電気需要最適化		○	4.1 駐車場のZEV充電設備の導入	
		+	4.2 デマンドレスポンスに対応した設備の導入	
		+	4.3 小売電気事業者等とのデマンドレスポンス契約	
やⅤ 環境事業 配業所 等のゼロ 組エミ ッ ン シ ョ ン 事 業 化		1. CO2排出量・エネルギー消費量等の削減	◎	1.1 ゼロエミッション化へのロードマップの策定
			○	1.2 ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)化へのロードマップの策定
	◎		1.3 CO2排出量の削減実績	
	○		1.4 一次エネルギー消費量の削減実績	
	○		1.5 再生可能エネルギー電気の利用割合	
	+		1.6 特定温室効果ガス以外の温室効果ガス排出量の削減実績	
	2. 気候変動適応策	○	2.1 気候変動への適応	
	3. その他の環境配慮の取組	○	3.1 持続可能な低炭素資材等の利用	
		+	3.2 建設・更新時のCO2排出量の把握	
		+	3.3 テナント工事に伴うCO2排出量を低減させる貸方基準書等の整備	
		+	3.4 ウェルネスに関する環境認証の取得	